

2019年度 学校評価について

本校の学校評価は、2008年度から保護者様対象アンケートとして始められ、2012年度からは、児童への質問も行い参考にしています。また、今回、2019年度の学校評価としてWEBからご回答いただく方法に変更し、

- (1) 11月下旬：教職員対象アンケート実施
- (2) 12月3日～12月6日：児童対象アンケート実施（WEBから回答）
- (3) 12月9日：保護者様対象に「学校評価アンケートのお願い」配布
- (4) 12月10日～16日：保護者様対象アンケート回答受付（WEBからご回答）
- (5) 3月6日：保護者様に、結果と考察をお知らせする（本日の、お手紙）
- (6) 3月21日：学校関係者評価委員会を開催

以上のような流れで実施しております。（なお、日程の都合上、保護者の皆様への本日のお手紙の後に、関係者評価委員会の開催となりますこと、お詫びいたします。）

児童対象アンケートとしては、10項目のアンケートに対して、「たくさんある・ある・あまりない・ない」のいずれであるかを尋ねました。保護者様対象アンケートでは、20項目のアンケートに対し、「A しっかりできている、B どちらかといえばできている、C どちらかといえばできていない、D ほとんどできていない」のいずれであるかをお尋ねいたしました。また、「その他、本校について、忌憚のないご意見をお書き下さい。」と、自由記述欄を設け、ご意見をいただきました。いただいたご意見については、全教職員でしっかりと確認し、来年度に活かしていきたいと思っております。教職員対象アンケートでは、保護者様対象アンケートと同様の項目としました。ただし、教職員対象アンケートの結果につきましては、参考資料として扱うこととさせていただきます。

今年度は、「全校保護者集計」と「全校児童集計」のアンケート結果に基づき、裏面にアンケートの項目と回答結果、下記に考察を記させていただきます。

（保護者様対象アンケート考察）

A・Bをあわせた評価は概ね昨年度と変わりませんでした。なかでも、「8：京都聖母学院小学校の子どもたちは、学校行事などを楽しんでいる。」の項目では、Dの回答は0で、99%の方がA・Bの評価でした。一方、Aのみの評価は全体的に減っていました。特に、「1：学校や学年のたより、ホームページの校長ブログやニュース&トピックス等は学校や学年の様子をわかりやすく伝えている。」「2：学校は、子どものよさや可能性を伸ばすような教育活動を行っている。」「3：学校は、保護者・関係者の願いに応えるよう努力している。」「4：学校では、カトリック精神に基づいた人間教育の取り組みが行われている。」が減少しています。行事の見直しなども行っていますが、変更の主旨を十分にお伝えするとともに、学校での指導の意図を丁寧にお伝えし、「しっかりとできている」と保護者に感じていただけるよう改善していきたいと思っております。

「18：家庭では、自分の事はできるだけ自分でさせるようにしている。」のAが昨年よりも減っています。保護者の方が、どこまで手をかけるかの判断に困っておられるのかもしれないと思います。「5：学校には、子どものことを相談できる。」にも十分留意し、お子達の成長のために、ご家庭と学校が今まで以上に協力していけるように、保護者の方とのコミュニケーションを大切にしたいと思っております。

なお、今年度は、昨年と比べると全体の回答数が若干減少しました。本年度からWEB回答の方法としましたが、回答方法などがわかりにくかった方もあったのではないかと思います。来年度は、より、わかりやすい説明を加え、無理なく回答していただけるように改善していきたいと思っております。

また、自由記入の項目では、最近の天候不順への対応・熱中症の予防などについてご意見をいただきました。学校でも検討を重ね、先日の学校便りでもお知らせしましたとおり、来年度から、運動会は、島津アリーナ京都（京都府立体育館）での屋内開催とします。水泳授業においても、一部外部の屋内プールを利用して水泳指導を実施することといたします。

（児童対象アンケート考察）

全体的には、昨年とほぼ同様で、おおむね良好な評価でした。

「9：テレビやインターネットを見たりゲームをしたりする時間が、・・・」の質問では、昨年よりも時間が増え、しかも、学年が上がるにつれて増加傾向にあるようです。様々な情報を得る便利なツールではありますが、学校ではモラル教育やどんな悪影響があるかという指導も行いますので、ご家庭でも適切な時間をお子様と約束するなどご対応をお願いします。

また、「2：家を出るまでに、きちんと朝ごはんを食べる日が、」の質問では、年々、朝食を食べる児童の割合が下がってきています。一日の良いスタートをきるには、朝食はとても大切です。学校としても「SEIBO 身体作りプロジェクトの取組」を保護者や児童に発信し、健康の増進や、健やかな身体作りの意識を高める努力をしたいと思います。

「1：家族に「おはよう」「おやすみ」と言える日が、」では、C・Dあわせて10%ほどの児童が言えない日があるようです。元気な挨拶がご家庭のなかでもできるように、学校での挨拶指導にも更に力を入れ、様々な場面で進んで挨拶ができる子に、育てていきたいと思っております。